

未利用県有地の活用に関する 住民説明会を開催(高蔵寺ニュータウン)

7月18日、高蔵寺ニュータウンにて福祉施設の建設に関する住民説明会が開かれました。場所はニュータウン東部にある未利用県有地(約8万平方メートル)の一部で、当日は県および春日井市の職員による説明および住民との意見交換が行われました。

この土地はこれまで、40年にわたり全く利用されておらず、私が2月定例議会にて「高蔵寺ニュータウン再生に向けた足がかりにしてみたい」と強く要望した場所です。



住民説明会の様子

今回、遂にその第一歩が踏み出された形であり、このこと自体は嬉しい限りです。しかしながら、

地域の方々に何も知らされない形で計画が進められたことは大変残念です。

会場からは「敷地の全体計画はどうなっているのか」、「高齢者に限らず、市民にとってより良い施設に活用願いたい」といった意見が多数出ておりました。

高蔵寺ニュータウンは高度経済成長期に国レベルで計画、建設された素晴らしい街並みである一方、現在では建物の老朽化とともに人口減少、高齢化が顕著となっています。

ニュータウン再生を考えるうえで、今回取り上げられた未利用県有地の活用が大きなカギを握っています。ぜひとも地域の声を聞きながら進めていただくよう私も働きかけをしたいと思います。



未利用県有地

ひび挑戦!

春に引き続き、この夏もNPO法人「ドットジェイピー」が企画するインターンシップ生(大学生)を受け入れております。

8月、9月の2か月間、様々なことに取り組んでもらう予定です。まずは前回同様、学生の目から見た議員活動をブログに記してもらっています。ぜひ、ブログもご覧ください!



左から 市野里奈さん 金城学院大学現代文化学部3年
比護哲也さん 南山大学総合政策学部2年
森永恵美さん 金城学院大学文学部2年



下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 春日井市中央台6-7-4
- 電話 0568-70-0594
- FAX 0568-70-0580
- HP <http://www.hibi55.com/>



災害廃棄物受入へ検討推進

愛知県議会6月定例議会および7月臨時議会では、東日本大震災による災害廃棄物の受入を巡って大村知事との間で議論が交わされました。

知事は3月に岩手、宮城両県の災害廃棄物の受入を表明。その後、県内3か所の受入候補地を発表するとともに受入検討調査費として6億円を専決処分しました。これに対し愛知県議会では、5月臨時議会にて、受入に際し県民の安心・安全の確保と理解を大前提とすべきとする決議を採択しました。

こうした経緯を踏まえ6月定例議会では、補正予算案として

- ①住民説明会等開催費(※) 約2,150万円
- ②情報提供のための広報費 約1,600万円
- ③災害廃棄物の安全性を示すための試験焼却費 約3,200万円

が審議され、民主党愛知県議員団は、あくまで安全性と県民理解を徹底重視するよう求めました。

※住民説明会等開催費について

6月定例議会中、大村知事が当初受入計画にあがっていた「焼却炉建設」の中止を検討する旨の発言をしました(下段代表質問を参照願います)。この「計画見直し」を受けて、自由民主党から「計画を見直すのであれば予算の前に全体像を示すべき」と、住民説明会等開催費のうちの住民説明会と被災地見学会費用約

1,450万円を削除した予算修正案が提出されました。

民主党、減税日本一愛知、公明党の3会派は、計画の一部見直しがあったとしても、「災害廃棄物受入への歩みを一日たりとも止めることはできない。早期に県民への説明が必要である。」と判断し、修正案に反対をしましたが、賛成52票、反対50票で修正案が可決されました。

しかし、大村知事はこの採決に異議を唱え、審議と採決をやり直す「再議」を求め、改めて7月臨時議会を招集しました。

「再議」の結果、再可決に必要な2/3以上の賛成票は得られず、自由民主党の修正案は廃案。最終的には全会派一致で原案が可決されたため、「住民説明会等開催費」は当初計画通りに予算計上されました。



50年ぶりの記名投票

受入候補地

- 名古屋港南5区
- 中部電力株式会社 碧南火力発電所
- トヨタ自動車株式会社 田原工場

代表質問 長江 正成 総務会長(瀬戸市選出 2期)

災害廃棄物の受入について

《Q》 震災被災地の一日も早い復興に向け、災害廃棄物の広域処理は必要だが、県民の理解と協力が欠かせない。県はどのような施設建設や処理計画を進めているのか? 試験焼却についての考え方は?

《知事》愛知県内3か所で、仮置場、焼却炉、最終処分場の検討調査を進めているが、焼却炉は設置しない方向。被災地のニーズや諸条件を的確に踏まえた処理計画としたい。最終処分場を設置する場合は、国が予算措置すべきと考えている。試験焼却は、本格的な受け入れを前提とせず、県民理解のための取り組みと考えている。

代表質問 長江 正成 総務会長（瀬戸市選出 2期）

電力危機への対応について

《Q》 浜岡原子力発電所の停止により、この夏の電力需給も非常に厳しい。今後の省エネ・節電をどう進めるか？また、再生可能エネルギーへシフトする計画は？

《知事》我慢する節電ではなく、電力を賢く使い（スマートユース）長続きする省エネ社会づくりを県民に呼びかけていく。今年2月に発表した「あいち地球温暖化防止戦略2020」に則り、固定価格買い取り制度を活用し



愛知県が発信するFacebookページ「エネルギーを考えるスマートプロジェクト あいち」

た太陽光発電の導入拡大をはじめ、小水力発電等、多様な分散型エネルギーの実現を目指す。

その他の一般質問

鈴木 純議員（稲沢市選出 2期）

防災行政、災害時の医療、中小企業地域活性化条例（仮称）について

西久保 ながし議員（岡崎市選出 1期）

知事の県政運営、あいち自動車産業イノベーションプランについて

佐波和則議員（東海市選出 1期）

橋梁等の長寿命化修繕計画、名古屋港国際バルク戦略港湾、地域の安全確保について

樹神 義和議員（豊田市選出 1期）

愛知の子ども・子育て、リニアインパクトを活用した地域づくりについて

委員会関係

5月23日に行われた臨時議会において、私は本年度の文教委員会に選任されました。その後、6月28日に開催された文教委員会では、早速、地域と学校との関わり（文部科学省が推奨しているコミュニティスクールへの取り組み状況）や放射線教育について質問をしました。

放射線に関する教育は、平成20年に策定された中学理科「新学習指導要領」の中に約40年ぶりに組み込まれ、今年度から正式に取り扱われます。また、文部科学省は福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、昨年度、希望する学校に対して「放射線に関する副読本」を配布しました。そこで私は、

- ① 学習指導要領に沿って放射線教育をどのように進めているのか。
 - ② 配布された副読本の活用を含め、今後放射線教育をどのように充実させていくつもりか。
 - ③ 先生方の教育指導について県教育委員会の支援策はどうなっているのか。
- という点を質問し、県から、

- ① 水力、火力、原子力等による発電の特徴について理解させることや、放射線測定器を使って身の回りに自然放射線があることを確かめたりして授業を進めている。
- ② ほとんどの県内小・中学校が、副読本を希望した。今後は、やみくもに「放射線」について不安を抱くの

ではなく、科学的な根拠に基づいて考えたり判断したりすることができるよう、副読本を有効に活用して、放射線教育の充実を図っていきたい。

③ 文部科学省主催の「放射線等に関する教職員セミナー」や「放射線等に関する出前授業」を活用することで、現場の教員の力量が向上するよう、市町村教育委員会に働きかけている。

といった回答を得ました。

放射線に対する正しい知識の習得は、非常に重要です。チェルノブイリ原子力発電所事故後25年に際し、ロシア政府が発表した総括報告書では「放射能による影響に比して、精神的ストレス、慣れ親しんだ生活様式の破壊、経済活動の制限、事故に関連した物質的損失といったチェルノブイリ事故による他の影響の方がはるかに大きな損害を人々にもたらした」と記載されています。さまざまな情報が乱れ飛ぶ今、誤った情報によって植え付けられた恐怖心や不安に基づく行動により、日本が同様の事態を引き起こしてはなりません。

始まったばかりの放射線教育ですが、正しい知識の伝播に務めてもらうことを強く願っています。



文部科学省作成の副読本

ベトナム海外調査に参加

4月15日から20日にかけて、日越友好愛知県議員連盟の一員としてベトナム社会主義共和国を訪問しました。日越友好愛知県議員連盟とは、愛知県とベトナムとの交流促進、相互理解と友好関係の発展を目的として、平成20年10月に超党派の議員連盟として発足したものです。この度、大村知事から「ベトナムとの関係強化を図るため、議員連盟も一緒に渡航を」との要請があり、私も一員として調査に参加しました。

中部経済連合会三田会長、名古屋商工会議所高橋会頭といった財界の方も参加され、総勢50名を超える訪問団は、各々が所期の目的を果たすため、時にグループ毎、時に一団となり各所をまわりました。

私たち議員連盟は、在ベトナム日本国大使館や在ホーチミン総領事館での交流会、要人との意見交換



ドクさん一家と

（ホーチミン副市長、ベンチェ省知事、書記長訪問）、日系企業視察（トヨタモーターベトナム、三菱重工エアロスペースベトナム等）、留学生との交流（名古屋大学日本法教育研究センター）、医療施設訪問（ソーズー病院、グエンディンチュー病院）等を通じて、従来以上の経済交流、人的交流、医療交流が図られるよう課題の整理や今後の展開について、勉強してきました。

非常に凝縮された日程ではありましたが、今回の訪問を機に愛知県とベトナムとのパートナーシップがより強固なものとなり、さらなる交流促進が図られることを願うばかりです。



三菱重工エアロスペースベトナム

みなさんの町に伺います!! 第1回出前県議会を春日井で開催

7月9日、民主党愛知県議員団による「出前県議会」を春日井市にある密蔵院にて開催しました。始めに出席議員から県議会での審議内容や県政に関する報告を行い、その後参加者のみなさんとざっくばらんな意見交換がなされました。今回は記念すべき第1回目！今後は、県内各地で実施させていただく予定です。

出席議員

- かしわぐま 光代団長（豊橋市選出 7期）
- 黒川 節男副団長（海部郡選出 6期）
- 安藤 としき議員（清須市、北名古屋及び西春日井選出 2期）
- 天野 まさき議員（小牧市選出 2期）
- 稲垣 昌利議員（西尾市選出 1期）
- 河合 洋介議員（知多郡第一選出 1期）

- 梶田 晃男議員（オブザーバー 春日井市議）
- 村上 慎二郎議員（オブザーバー 春日井市議）
- 小沢 国大議員（オブザーバー 小牧市議）



出前県議会の様子